

地方公共団体金融機構 第33回経営審議委員会会議録

1 開会の日時及び場所

(1) 開会の日時

令和2年6月5日（金） 10時25分～11時25分

(2) 場所

地方公共団体金融機構 第一特別会議室

2 出席委員の氏名

(1) 出席委員

委員 三谷 隆博

〃 鈴木 豊

〃 勢一 智子

〃 玉沖 仁美

〃 上崎 正則

(2) 欠席委員のうち、地方公共団体金融機構経営審議委員会会議規則第4条第3項の規定に基づき、書面をもって意見を提出した委員の氏名

委員 米田 保晴

3 議事の概要

別紙のとおり

以上

地方公共団体金融機構

経営審議委員会委員長 三谷 隆博

(別紙) 議事の概要

1 開会

委員長 (挨拶)

理事長 (挨拶)

2 議事

(1) 令和元年度決算について

(2) その他報告事項

事務局 (議案及び資料の内容を説明、その他報告事項について報告)

委員長 議案等について質問はないか。

委員 地方道路公社の貸付残高について、要注意先は。

理事長 令和元年12月に廃止された金融庁の「金融検査マニュアル」に準じて機構で策定した独自基準に基づいて機械的に判定しているが、地方道路公社は、設立地方公共団体の債務保証が付されており、問題はない。

委員 去る6月4日の第32次地方制度調査会第39回専門小委員会で承認された答申案において、2040年の地域の未来予測を整理することが盛り込まれている。機構の地方支援業務は、未来の財政状況を予測する上で非常に有効な手助けとなることから、今後の新しい支援のニーズについて注視していただきたい。

また、新型コロナウイルス感染症対策に関して、テレワークは職員のプライベートを含めたライフスタイルと関係が強いため、折に触れて現場の声を反映した働き方を考えてほしい。

事務局 パソコンや携帯電話などの機器の導入等、テレワークの環境整備を進めてきた。また、テレワークの課題に係る職員の声もまとめており、一つ一つ改善しながら取り組んでいきたい。

委員長 債券発行や融資において、証券会社や金融機関、地方公共団体との打合せ等が必要になると思うが、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、円滑に進んでいるか。

事務局 債券発行では、電話会議の活用等により、例年どおり順調に発行している。

融資について、貸付のピークは5月だが、期日までに全ての貸付を実行しており、問題なく対応できている。

委員 地方公共団体の資金運用の方法に機構債の活用もあると思うが、団体によって認識に差があることから、地方公共団体への機構債のPRを積極的にしていただきたい。

また、今後、地方支援のセミナー等のオンライン開催が増加すると思うが、資金運用等の個別相談をオンラインで受ける取組みがあってもよいのではないか。

事務局 資金調達入門研修を初めてオンラインで開催することとしたが、昨年度と比べ申込数が増加している。更に、資金運用入門研修についても、同様にオンラインでできないか検討している。

また、個別相談について、これまでファイナンシャル・アドバイザーによる助言を実施してきたが、電話・訪問の他、オンラインでの対応等を検討し、小規模な自治体を丁寧にサポートできるように取り組んでいきたい。

委員 人口減少社会や新型コロナウイルス感染症等の影響下において、地方公共団体の財政や公営企業の経営の健全性をどのように保っていくかという観点が必要と考えており、諸外国における制度面での対応や実際の運用状況などについても調査・研究を行っていただきたい。

委員長 最後に、委員会の意見書について、私の方で意見書案を作成したので、今から配布する。

(意見書(案)を配布)

委員長 このように意見を取りまとめたいが、いかがか。

(異議なし)

委員長 意見書については、代表者会議で報告いただきたい。

3 閉会

委員長 議事を終了し、閉会する。

以上